

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30年 8月 28日

計画の名称	大竹市公共下水道 (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	大竹市
計画の目標			

住民の生活環境の向上と公共水域の水質向上の達成及び浸水の防除を行うために公共下水道事業を実施する。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ① 合流式下水道改築率を0% (H22当初) から100% (H26末) に向上させる
- ② 下水道設備の改築更新率 (長寿命化) を0% (H25) から33% (H26末) に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

① 合流式下水道改築率 整備済み区域面積 (ha) / 合流区域面積 (ha)	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考			
	(H22当初) 0%	(H24末) 100%	(H26末) 100%				
② 下水道設備改築更新率 改築済み設備数 (基) / 改築対象設備数 (基)	(H25当初) 0%		(H26末) 33%				
全体事業費 合計 (A+B+C)	1,312百万円	A	1,312百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大竹市上下水道局において実施	事業終了後 公表の方法 市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-3	下水道	一般	大竹市	直接	—	雨水	新設	小方地区管渠	実施設計	大竹市						12	
A1-2-1	下水道	一般	大竹市	直接	—	合流	新設	大竹下水処理場	雨水滞水池 V=3,200m ³	大竹市						302	
A1-2-2	下水道	一般	大竹市	直接	—	汚水	新設	大竹下水処理場	脱水機 90kg・DS/m ² ・h 汚泥処理棟	大竹市						307	長寿命化
A1-2-3	下水道	一般	大竹市	直接	—	汚水	新設	大竹下水処理場	1・2系水処理施設 17,620m ³ /日	大竹市						95	長寿命化
A1-3-1	下水道	一般	大竹市	直接	—	汚水	新設	小島汚水中継ポンプ場	合流ポンプ56.5m ³ /分	大竹市						450	長寿命化
A1-3-2	下水道	一般	大竹市	直接	—	汚水	新設	小島汚水中継ポンプ場	自家発棟, 沈砂搬出機1台 (ポンプ能力56.5m ³ /分)	大竹市						95	
A1-3-3	下水道	一般	大竹市	直接	—	汚水	新設	小方ポンプ場	沈砂設備 (掻揚機1台, 搬出機1台, 除塵機1台等) (ポンプ能力11.9m ³ /分)	大竹市						18	
A1-4-1	下水道	一般	大竹市	直接	—	汚水	新設	大竹下水処理場, 小島汚水中継ポンプ場 (合流・分流)	長寿命化診断・計画策定	大竹市						33	長寿命化
合計																1,312	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

その他関連する事業											
計画等の名称		大竹市公共下水道									
事業種別		交付対象		要素となる事業名		市町村名				全体事業費 （百万円）	備考
A'1-1-1	下水道	大竹市		防鹿地区管渠（未普及解消）		大竹市				87	
A'1-1-2	下水道	大竹市		白石地区管渠		大竹市				60	
C'1-1-1	下水道	大竹市		防鹿地区管渠枝管布設		大竹市				10	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 合流式下水道改築率については、「大竹市合流式下水道緊急改善計画」に基づく事業を実施することができた。 下水道設備改築更新率については、主に「大竹市下水道長寿命化計画」に基づき改築更新を行い、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることができた。 								
II 定量的指標の達成状況	指標①（合流式 下水道改善の進 捗率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	「大竹市合流式下水道緊急改善計画」に基づき事業実施し、目標値を達成した。					
		最終実績値	100%							
	指標②（長寿命 計画に基づく進 捗率）	最終目標値	33.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	「大竹市下水道長寿命化計画」に基づき改築更新を実施したが、一部水処理施設において開放しての施工となるため、その検討が必要となり今回計画で実施することができなかったため。					
		最終実績値	11.5%							
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因						
		最終実績値								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）										
3. 特記事項（今後の方針等）										
今後も計画的に下水道施設の長寿命化を行うことにより、施設の持続的な維持・運営を図る。										

社会資本総合整備計画

計画の名称

大竹市公共下水道（防災・安全）

